

知ってほしい、薬と薬剤師の仕事

第2回.. かかりつけ薬剤師に相談してみませんか？

いつも利用する薬がせき止めを買いに局は同じだけど、対応してくれる薬剤師はその時によって違う。「薬をもらうだけだし、どの薬剤師でも説明は同じでしょ」と思われる方は多いかもしれません。

同じ薬局を利用している親子。娘さんが重なることがわか

がせき止めを買いに来局した際、母親のせきが止まらないことを薬剤師に相談しました。薬局に記録してある母親の過去の処方せんの情報などを確認したところ、せきが始まった時期と緑内障の点眼薬を使い始めた時期が重なることがわか

りました。薬剤師は点眼薬による副作用の可能性があると気づき、すぐに眼科の医師に連絡しました。その後、点眼薬が変更されせきも収まったそうです。

市販薬の購入で来局した母親。「子どもに頼まれて。前回と同じ点鼻薬がほし



い」と、いつも相談する薬剤師に伝えました。前回購入から間もなかったため、状況を確かめました。その薬には血管を収縮させる成分が含まれていて、使用する期間が

長いと薬が効かなくなったり、副作用が生じる可能性があります。そのため、すぐに耳鼻科を紹介したそうです。

いですが、飲み薬による治療ができるよう、禁煙外来がある医療機関を紹介したそうです。

このように、薬局

禁煙相談で来局された男性。その男性はなじみの患者さんで、肌が弱いことや部分入れ歯であることを薬剤師は知っていました。一般的に薬局での禁煙支援では、禁煙補助薬としてパッチやガムをおすすめすることが多

く、健康に関するチェックとしたことでもご相談ください。もしすぐにおこたえできないことでも後で調べて対応します。

薬局は、住民の健康づくりをサポートする場所です。薬に

関するちょっとした疑問はもちろん、健康や介護に関連することなど、ぜひお気軽にご相談ください。そして、相談できる薬剤師がいたら、「かかりつけ薬剤師」として活用してみてはいかがでしょうか。

東京都新宿区
四谷3-3-1
日本薬剤師会
<http://www.nichiya.ku.or.jp/>